

ものづくり補助事業成果事例

炭酸入り氷

炭酸氷は、文字通り氷に炭酸を閉じ込めた製品で、口に含むと「シュワツ」とする食感が特徴です。試作開発および、量産体制による商品化を検討していました。ものづくり補助事業を活用し、量産機の開発製造を目指しました。

事業取り組みの経緯

炭酸をそのまま氷に閉じ込めて凍らせる技術は、ありそうでなかった技術です。炭酸飲料入りのペットボトルをそのまま凍らせても炭酸は抜けてしまったり、凍らずにシャーベット状になったりします。当社は、水に水素を溶け込ませて飲料水や化粧水を作る、水素水製造技術を持っており、この技術の蓄積が炭酸氷と炭酸氷製造機の独自開発につながりました。



アイスクラッシャーに、できたての炭酸氷を投入

実施内容

ものづくり補助事業を活用して炭酸氷の量産機開発を目指しました。炭酸氷の量産機については自社で設計開発して、部品や冷凍機、容器、タンク等の設備は機械メーカーなどに依頼し、最終的には自社で組み立てを行いました。量産機の開発当初は、炭酸氷という商品が市場に受け入れられるのか、事業として成功するのか、わからない状況でしたので、数千万円の設備投資には二の足を踏んでいました。竹野光紀経営企画担当は「ものづくり補助金活用が、炭酸氷の量産化やテスト販売につながった」と振り返ります。

事業取り組みの成果

最初に開発した炭酸氷製造機は、1日約1キログラムを製造するのがやっとでしたが、補助事業で開発した量産



補助金活用のポイント！

現在、炭酸氷はアルコールの割材に用いるプレーンタイプのほか、メロン、ソーダ、グレープ、レモンの5種類を発売しています。



機は1日で400～600キログラムを製造できるまでに生産性が向上しました。平成27年から野球場やライブイベントに出店し、炭酸氷のテスト販売を始めたところ、SNSでも話題になり、原宿で期間限定のパイロットショップを開店し、炭酸氷の人気を確信しました。翌年にはマツダズーム・ズームスタジアムひろしま（広島市）で販

売代理店を通じて本格販売を始め、炭酸氷の直近売上は、前年比3倍の9000万円を売上げました。

求める事業パートナー及び支援策

炭酸氷製造機械自体の製造販売を検討しています。炭酸氷製造機の設備と製造ノウハウの提供で世の中に貢献したいと考えています。



「氷のもつ不思議な性質はわからないことが多い」と竹野さん

毎日、楽しく仕事に取り組んでいます。
社員一同、新しいことにチャレンジ
しています。

COMPANY PROFILE

株式会社 KIYORAきくち

代表者名 代表取締役 大神 志保子
設立年月 2008年6月
所在地 〒861-1303
熊本県菊池市今 129-2
TEL 0968-41-4871
FAX 0968-41-4877
URL <https://www.kiyora-kikuchi.com/>
資本金額 400万円
従業員数 27人
業種 炭酸氷、ナノ水素水、食品等製造販売



代表取締役
大神 志保子さん

回転式選別機(手前)を使って炭酸氷の角を取って形を整える